

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870103664
法人名	有限会社 トータルケア果の実
事業所名	グループホーム ころ
所在地	松山市西垣生町575-6
自己評価作成日	平成24年12月30日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成 25 年 2 月 1 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご利用者様の健康管理ができ病状悪化防止ができ、安全に暮らせる様、訪問診療、訪問歯科、訪問看護等々の連携を密に取り、安定した生活ができるように支援させて頂いております。又、四季折々の情緒が味わえるようにレク係が率先して楽しんで頂けるよう支援させて頂いております。(お花見、芋煮会。etc)お一人お一人のできる事が継続できるような自立支援の介護をさせて頂き『生きている、役割を感じる』事も支援とさせて頂いております。他の楽しみも、昔を思い出して頂けるような地方祭等々に参加して頂き、回想法等々を用いて認知症の悪化予防にも取り組んだケアをさせて頂いております。お一人お一人の個別性も大切にすることも、ご家族様のご協力を賜り笑顔で毎日を過ごせるように支援させて頂いております。日々の食事にも食材の下準備と一緒に頂いたり手作りにも拘りを持って美味しく頂けるよう支援させて頂いております。畑で採れた野菜等々新鮮なものを食べて頂けるようにも取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

平成15年に開設された事業所は、昨年から看護師資格を有する管理者へ交代し、医療的な視点を踏まえた介護ケアに取り組んでいる。そのために、業務の一環として外部研修に参加するだけでなく、事業所内での研修にも力を入れ、職員一人ひとりの質の向上に努めている。どの職員も「和み・信頼・尊厳」の理念やホーム独自の介護目標を振り返り、利用者一人ひとりを尊重したケアを行うために、日々努力し、その中で利用者はゆったりと心落ち着いた面持ちで生活している。また、利用者と家族との関係を大切に考え、利用者や家族が楽しく集える行事を企画し、絆を深めることで利用者のこのころの安定や生活の張りに繋げている。一日の楽しみである食事は、専任の調理スタッフが味や盛り付けにも工夫しながら美味しく楽しく食事できるよう工夫をしている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I.理念に基づく運営
- II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名	グループホーム ころ
(ユニット名)	あんず
記入者(管理者)	
氏名	向井 眞弓美
評価完了日	平成24年 12月 30日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<p>(自己評価) 毎朝、申し送り時、毎月1回のミーティング時にこのころの基本理念、介護目標を皆で唱和して確認し介護させて頂いております。</p> <p>(外部評価) 理念の「和み・信頼・尊厳」や事業所独自の介護目標を、申し送り時やミーティング等で唱和し、全職員のケアに対する意識向上を図っている。また、気づいたことを日常業務の中で職員がお互いに声をかけ合うことにより、利用者一人ひとりを尊重したケアに繋げている。</p>	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<p>(自己評価) イベント等、出来る限り参加し当ホームのイベント等々にも参加して頂けるようお知らせをさせて頂いております。(こころ祭り等々チラシでお知らせしたりしています。)松山市包括支援センターのお力もお借りし、地域で認知症の介護が地域で根付くような集まりにも参加させて頂き他の事業所様との交流もさせて頂いております。</p> <p>(外部評価) 地区の自治会に加入し、自治会の行事(清掃活動など)に参加することで、地域住民と関わりながら地域活動に取り組んでいる。また、事業所が実施している「こころ祭」などに、地域にチラシを配布し参加してもらい、地域住民と交流を持つ機会を作り、利用者が地域の一員として交流が図れるよう工夫している。</p>	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<p>(自己評価) 事業者としては地域貢献できているかどうかわかりませんが地域の清掃活動には年に2~3回参加させて頂いております。また散歩の途中、放置ゴミ等々意識して拾ったりして将来は定期的にゴミ拾いの計画を、地域の方へ防災訓練時に炊き出しをしたりする計画を立てたいと考えています。地域包括からの人探しには積極的にスタッフに送り参加させて頂いております。</p>	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<p>(自己評価) ご家族様にいかに携わって頂けるか、公私の先生にお願いをし一緒に介護を取り組めるように運営推進会議時お勉強会をさせて頂いたり会議時には実施した事の報告しご家族様のご意見等々お一人お一人にお話ができる機会を作り皆で対応させて頂いております。</p> <p>(外部評価) 運営推進会議は、自治会長や民生委員、市職員、地域包括支援センター職員などの参加を得て開催され、様々な意見交換が行われている。また、会議に行事を併せて企画することで、家族の参加も多く、家族からの要望や意見を聞く機会となり、事業所のサービス向上に繋げている。</p>	<p>運営推進会議には、多くの家族の参加は得られているものの、地域からの参加者が固定されているため、災害対策など課題によって、いろいろな立場の方に参加してもらい、多角的に意見や協力を得られるよう取組み、事業所が地域の一員として更なる発展に繋がることを期待したい。</p>
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	<p>(自己評価) 特に松山市地域包括支援センターとの連絡、また、GH、小規模多機能の連絡会に参加し研修をしたりコミュニケーションをとっています。時には松山市介護保険課にご相談をすることもあり、助けて頂いております。</p> <p>(外部評価) 市担当者とは、運営推進会議で意見交換するなど、日頃から質問や相談を気軽にできる関係作りができています。また、地域包括支援センターへ困難事例の相談をするなど、良好な関係が形成されている。</p>	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<p>(自己評価) 夜間時にベッドで就寝中、妄想があり異常行動が見られベッドから降りようとしたりすることもあり、お怪我の無いように対応をさせて頂いております。(低床にし、その下にマットを敷いたり、柵に布団をまいたりして転倒へのリスクを考慮した対応をしています。)</p> <p>(外部評価) 全職員が、カンファレンス等で身体拘束について考える機会を設けることで、意識の共有を図っている。外出希望のある利用者には、さり気なく声をかけ、散歩に誘うよう配慮している。利用者が安全で自由に暮らせるよう取り組んでいる。</p>	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 基本的知識の研修を内部研修として行ってみたい、スタッフ全員で周知徹底に努めています。(反対に介護拒否として噛みついたり、つねったり、たたいたりが見られることもあります。がゆっくりと優しく対応をして落ち着けるように努めております)	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 現在、成年後見制度を利用しておられる方はいらっしゃいませんが、誰もご家族様がおられない利用者様がおられますのでご本人様が自己決定できなくなられるまでには生活保護課、介護保険課、主治医の方々の連携を密に取り対応させて頂けるよう支援させて頂こうと思っております。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入所前に必ずご家族様、ご本人様が見学に来ていただき、こちらの介護理念介護目標等々当ホームの事をお話して納得して頂いたうえで契約をさせて頂いております。変更に関しては(過去1回食費等々の変更に対しては)十分な説明を運営推進会議で行い、同意書を頂いております。(参加できなかったご家族様に関しましては文章にてお知らせういし納得したうえでの同意書を頂いております。)	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者の方の言葉、態度、表情を良く観察しくみ取るように努め、ご家族様のご意見、ご不安な事柄に対しては、出来るだけお話し合いをし、その旨スタッフにも伝達をミーティング等々でしています。外部の方へは松山市市役所、包括支援センターの方々へはその都度または運営推進会議等々で報告をさせて頂いています。 (外部評価) 運営推進会議と行事を合せて開催することで多くの家族に参加してもらい、意見や要望を反映し、利用者のサービス向上に繋げている。利用者や家族等から苦情や不満などが出た場合は、全職員で話し合い、管理者や代表者が適切に対応できる仕組みを整えている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) ミーティング、ユニット会議等々でスタッフの思い、会社の思い等々話し合いを設けています。	
			(外部評価) 管理者は、日頃から職員の表情等を読み取りながら積極的に声をかけ、何でも話しやすい関係を築いている。悩んでいる職員がいれば面接するなどして働きやすい職場作りを心がけている。研修には、業務の一環で参加でき、研修内容をケアに反映できるよう配慮され、職員の意欲へと繋げている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 管理者よりの勤務評価等にて公平な形で職員を判断して給与、賞与の支給をしている。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 内部、外部研修の参加を促し、時間外手当、勤務時間内の参加をさせる等職員の向上を図っている。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) グループホーム協会の参加を通して同業者と方々との交流を図っている。	
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 介護計画書にも反映できるようにコミュニケーションを取り、出来る限りお声掛けをして、信頼関係が築かれるように努めています。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等 が困っていること、不安なこと、要望等に 耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) ご家族様のご意見をしっかりお聞きし、当ホームで安 心して生活ができ、安心してご家族様より任せて頂け るように情報収集をさせて頂き本人、ご家族様を出来 るだけ理解できるように努めています。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と 家族等が「その時」まず必要としている支 援を見極め、他のサービス利用も含めた対 応に努めている	(自己評価) 認知等がありなかなかご本人様からのご要望はお聞き できずご家族様からの情報を大切にしている事は自立 への介護に努めさせていただいております。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場にお かず、暮らしを共にする者同士の関係を築 いている	(自己評価) 残された機能を十分に発揮できるように、出来る事に 自信が持てるように体調をうかがいながら、お声掛け をし、手伝って頂き(ともにいき) 楽しみを持って頂け るように努めています。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場にお かず、本人と家族の絆を大切にしながら、 共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族様の役割を大切に、面会に来られた時にはご 家族様の介護ができるように支援させて頂いていま す。(出しゃばらず、ご家族様なりの介護をそっと見 守っていけるようにさせていただきます。)	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人 や場所との関係が途切れないよう、支援に 努めている	(自己評価) ご本人様のなじみの物があれば持って来て頂いたり、 (筆筒、衣服) お買い物が好きだった方には機会を作れ るようにまた、ご近所の方が訪ねてこられたときには 会話が進むような環境づくりに努めさせていただいて おります。 (外部評価) 利用者が入居前に大切にしていた場所や知人等につい て、家族の話や利用者との日常会話から把握し、ケア に反映している。利用者が、馴染みの知人の面会や手 紙・年賀状のやり取り、家族の協力を得て墓参りに外 出するなど、継続的な交流ができるよう支援してい る。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 2ユニットある中でもお話ができる方々とのコミュニケーションの機会を作ったりしてかかわって頂いております。「また、話そうや」「うん、またね」等々の会話も聞くことが出来ています。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) ホームですので退所されない限りずーと対応させて頂いておりますが、退所された後も、ご家族様より「ボランティアでいいので来させてね」とのお言葉もお聞きできていることにうれしく思っております。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 出来るだけご本人様のご意向を大切にさせて頂いておりますが、時にご家族様のご意向を優先させて頂く事も・・・ご家族様「認知症の者いうことをうのみにするのですか？」とおしかりを受ける事もありましたので、その時々での対応をさせて頂いております。 (外部評価) 職員は、利用者の日常会話やちょっとした表情の変化を通して思いや意向を把握し、ケアに繋げている。また、家族と協力し、利用者の笑顔や意向を引き出し、どのような暮らしをしていきたいかを考えながら、利用者への支援に繋げている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 過去の生活状態を日頃のコミュニケーションの中からまた、ご家族様からの情報収集させていただき、スタッフみんなで把握できるように努めております。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) その方々の能力を生活の中で生かせるように、優越感にたれるように、お願いをしたりして、「あなたがしてくれたからとても助かりました。ありがとうございました。」の気持ちを伝えるように努めさせて頂いております。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) 本人様、ご家族様のご意向をお伺いをし、問題解決に取り組んでいますが、本人様の意欲の欠如からご家族様のご意向に沿って計画作成する事時にはあります。例えば) 食事をご本人様は箸を使えるのに食べ様としない時に本人様は「イラン」と言われるもお口に運ぶと食べられるとした時、ご家族様のご意向は介助してでも全量摂れるようにしてほしい」とのご意向を優先して健康管理をしていく計画を立てる。等々</p> <p>(外部評価) 担当制にすることで、利用者や家族の思いや意向が介護計画に反映しやすく、利用者本位となるよう留意している。介護計画は、申し送り等でモニタリングし日々のケアに繋げ、3か月に1回全職員で話し合い計画の見直しをしている。その際には利用者や家族の意向を確認し、その人らしく暮らしていくための介護計画となるよう工夫している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価) 毎日の午前、午後の申し送り等を使って共有、介護計画、実施の変更等々させて頂いています。時にはミーティングの時間に設けたりして対応をさせて頂いております。</p>	
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 個々の利用者様のニーズで例えば食事にとっても執着がある方にはホームでバイキング形式の食事にしたたり、出かけていきバイキングを楽しんで頂いたりとして対応させて頂いております。</p>	
29		<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 時には地域で花を咲かせて頂いている公園へ出かけて行き楽しんで頂いたりしてリフレッシュして頂き、他事業所のお祭りに参加させて頂いたり等々させて頂いております。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	<p>(自己評価) まず、入所されるに当たり、主治医の選択はご本人様、またはご家族様の選択を優先させて頂いております。今までには主治医付で入所された方もあり柔軟に対応させて頂いております。(当ホームに来ていただいている医師も現在4名様で対応させて頂いております)</p> <p>(外部評価) 入居前のかかりつけ医への受診は、基本的に家族が同行して行くが、状況によって看護師である管理者が同行し適切に医療が受けられるように対応している。受診内容については電話や面会等で必ず家族と共有するようにしている。主治医の受診以外に訪問看護を実施しており、利用者の健康状態を適切に管理している。</p>	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	<p>(自己評価) 管理者である私が看護師なので利用者様の件とかは密に連絡が来るようになっております。(夜間、深夜に関わらず報告が入りDrへの連絡相談は看護師である私がし、Drからの指示をスタッフに伝達したりして対応させて頂いております。)又週に1回訪問ナースが来られ、利用者様の健康管理をとものにさせて頂いております。</p>	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<p>(自己評価) ご本人様のこれからの状態を鑑みご本人様のご意向ご家族様のご意向を大切に、病院側と密に連絡を取り今後のことをご一緒に考え対応させて頂けるように医療連携室の方々また、相談員様、Drとの報告連絡、相談をさせて頂いております。</p>	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<p>(自己評価) ご本人様、ご家族様のご意向を大切に、当ホームでは医療の限界がある事等十分に説明をし、ご家族様の決定に沿って対応させて頂いております。終末期に対してはご家族様と一緒に穏やかに迎えられるように、またご家族様の不安を取り除けるようにお手伝いをさせて頂いております。</p> <p>(外部評価) 事業所で利用者の看取りの経験もあり、利用者や家族の安心と納得を得られるように主治医も含め話し合いを重ねながら、安心して最期を迎えられるよう支援している。管理者が看護師で、何かあればいつでも相談できる体制を整え、職員も安心して終末期の支援をすることができる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 管理者である私(看護師)に報告連絡相談を出来るような体制をとっております。事故時には事故報告書を作成し、対策を立て適切に継続できるようにミーティング等々で連絡会をしております。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 火災避難訓練等々を年2回実施しとっさの出来事に対応できるように訓練は継続していきます。(まずは消火が第一との消防署からのご指導を受けております。) (外部評価) 運営推進会議を利用して、昼夜を想定した防災訓練を実施し、事業所の災害対策について意見交換をする機会を設けることで防災意識を高めている。地震については利用者とともに防災頭巾を製作し、リビング等に配置し利用できるようにしている。備蓄は米・カップ麺・水など3日分を常備し緊急時に備えている。	運営推進会議や避難訓練を通して、職員の防災意識を高めているが、災害が起こった時に利用者の避難など近隣住民の協力を得られるよう、防災訓練は、近隣住民にも参加してもらおう等の取組みが望まれる。また、火災緊急時マニュアルだけでなく地震等の各災害マニュアルの整備も望まれる。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 排泄の事をお聞きする時等、お部屋でお一人の時間にお聞きしたりして配慮させて頂いております。(特に気にされておられる方は・・・) (外部評価) 利用者のプライドやプライバシーを損ねないように、十分に話を傾聴して、声かけも工夫している。また、利用者について気がついたことを申し送り等で随時共有できるようにし、職員一人ひとりがその人らしさを尊重できるよう心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 衣服の着方、四季を感じる事が出来ず、暑い夏でも2~3枚着られる方に対応するときにはお声掛けをしながら季節を感じて頂きながら適切な着方ができるように、どの洋服が着たいのかお伺いしながら介助させて頂いております。反応があまりない方に対しては勝手に決めずにお声掛けをしながら、「今日は寒いからもう一枚重ねてを着ておきましょうね」等々のお声掛けをさせて頂きながらのケアをさせて頂いております。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 入浴の際こちらが介助すれば短時間で済ませられますがご本人様の自立を重んじて時間はかなりかかりますがご本人様の思うように対応させて頂くようにさせて頂いております。(反対に依存的な方もありますが)	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) こちらの感性は押し付けず、長袖の上に半袖を着られておられてもご本人様の満足されている様子ならばあえて触れないように支援させて頂いております。面倒がってお声掛けでは何もされない方その上に着ようとされる方様々ですがその都度ご本人様の思いも大切にしながらご家族様も満足して頂けるように対応させて頂いております。「本人は面倒がって着替えなくてもヘルパーさんが手をかけて着替えさせて下さい」とのご要望もありますので・・・	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 時には里芋の皮をはいで頂いたり、豆もぎを手伝って頂いたりそれを料理に使って頂いたりしています。年末には、餅つきを手伝って頂く予定にしています。(お正月用のおもち)	
			(外部評価) 食事は栄養面に配慮しながら、季節のものを取り入れ、調理専門の職員が献立を立て調理している。事業所の畑で収穫した野菜をメニューに加えたり、芋炊きなどの行事食を取り入れたりするなど食を楽しめる工夫をしている。また、職員と利用者が準備や片づけを共に行い、利用者の自信や意欲に繋げている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事摂取量、水分摂取量等々健康管理を含めて計測させて頂いております。(毎食時事、10:00, 15:00、深夜はポット、ペットボトル等々で管理)。発熱時等々もDrに報告しながら対応させて頂いております。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後の歯磨き、口腔ケアは入れ歯洗浄等々個々に対応させて頂いております。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 特に失便等々でプライドを傷つけないような配慮をし介助させて頂いております。(下剤等を服薬していた時等)失禁されてもできるだけ布パンツで対応させて頂いております。(徐々にリハパンツが増えてきています)	
			(外部評価) 利用者一人ひとりの排泄パターンを日誌や介護記録で管理・把握し、利用者にあつた排泄リズムでのトイレ誘導等を行っている。オムツの使用方法やトイレ誘導について、利用者や家族の意向があれば、カンファレンス等で話し合い、排泄の自立支援に取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 便秘解消のリハビリ体操を個々に対応させて頂き、散歩等々屋外活動への支援、水分摂取、腸の蠕動運動、繊維食物の摂取ができるようにスタッフ全員で対応させて頂いております。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 利用者様の入浴拒否もあり、あまり入りたがらない方もいらっしゃいますので入浴の効果等々を説明したり、時には「入浴してくれんと社長に怒られるからお願いします。」等々いろいろな手法で清潔管理をさせて頂いております。ご本人様からは「きれいにしてちょうだい、お風呂にはいりたい。」等々のご要望も少なくご家族様のご意向で清潔介助をさせて頂くことも多くあります。「週に2~3回は入れてやってほしい」等々	
			(外部評価) 浴室には、シャワーチェア等の福祉用具や介助用リフトが設置され、重度化した利用者でも湯船に入れるよう設備を整え、安全・安楽に入浴できるようにしている。入浴の苦手な利用者については、無理強いしないよう、声かけの工夫や希望を聞くなど配慮している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 昼夜逆転の方に対して日中起きて活動して頂けるように「動いて疲れたからぐっすり寝れた」と外出するといわれる方々にはお庭に出て草花を観て頂いたり、お買い物に出て頂いたりと夜間ぐっすり眠れるように支援させて頂いております。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬拒否が見られる方もおられますが調子、ご機嫌等々を見ながら時間が少し遅れても服薬できるようにお声掛けをいろいろな形でさせて頂いております。お薬を吐き出す方については散剤にして対応したり、時間をずらしたり等々対応させて頂いております。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 手先が器用で縫い物が得意な方にはゴムが緩んだ時、他の利用者の方のスボンのすそがほつれた時等々「とても助かります。お願いします」「ありがとうございました」とお礼を言いととても助かっていることもお伝えして人に喜んで頂けることを共有させて頂いております。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 外出拒否の方に対してはご家族様のご協力を得て、出かける事が出来ています。(何度も拒否されるのでご相談をしましたら快くご家族様のご協力をして下さいました。なぜか? 「出かけるとトイレが面倒だし、失敗したら…と思う」とのことでしたが出かけると何ともないのですが…不安なのでしょう。その都度お声掛けをしていきます。	
			(外部評価) レクリエーション係の職員が利用者の外出希望を聞き、季節に合った外出を企画し、外出支援に取り組んでいる。外出は、ボランティアや家族の協力を得ながら実施している。外部との交流や日常の変化により、利用者の気分転換やストレス発散などに繋げている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 取られ妄想の利用者の方々がおられる為また、金銭感覚の理解ができにくい方々もおられる為、外出時利用者様各々適宜スタッフが対応させて頂いており、利用者様ご本人がレジで支払いをされる事はしていませんが、買い物時の選択は高額でなければご自由にさせて頂いております。事前にご家族様に連絡はしています。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 特に問題がなければ「電話をかけたいのよ」との事にてご本人様自らかけられず外野るはこちらのスタッフがかけるような時が多いようです。少しご家族様が来られずストレスを感じられておられる様子があればこちらからお願いをすることもあります。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価) 季節ごとに情緒を感じられるような廊下、壁等々に飾りつけを利用者様が作られたものを飾り、雰囲気作りに努めさせていただいております。失禁がありトイレの臭いに配慮させて頂いております。（消臭剤により不快感を取り除いています。）</p> <p>(外部評価) 共用空間は、リビング兼食堂となっており、テーブルやソファなど置いている。日中はそこでくつろぐ利用者もあり、ゆっくりとした時間が流れている。オープンキッチンからリビングを見渡せるため安心にも繋がっている。各階にウッドデッキがあり、そこから春には桜を眺めたり、天気の良い日にはお茶をしたり気分転換の場となっている。</p>	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価) リビングの畳部分でくつろげたり、ソファでほかの方と一緒にTVを見たり、時にはひとりで脳トレをしたり共用の場所であっても皆での行動、一人で没頭できるスペースができるような環境作りに努めております。お天気が良い日にはウッドデッキに出て日向ぼっこをして癒させて頂いております。</p>	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価) 以前に使われていた家具等々で昔懐かしいお部屋作りに配慮させて頂きご家族様にご協力を得て心地良いお部屋作り、環境整備をさせて頂いております。ご自分で整理ができると思っておられる方に対しては何か訴えがない限りは見守っていき、出来ない方についてはこちらで適宜環境整備、衣類の整理をご家族様と一緒にさせて頂いております。</p> <p>(外部評価) 居室は、殺風景にならないよう家族に働きかけ、使い慣れた馴染みものを持ち込んだり、家族の写真や手作り作品等を飾ったりしている。滑り止めマットなど安全面に配慮した居室づくりをし、自分の居場所としていつでも心地よく過ごせるよう支援している。</p>	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価) 手先の器用な方には新聞を一枚ずつ折って頂いたり、お芋の皮を取って頂いたりして「助かります」の感謝の気持ちを表現して私にも「できる」を感じて頂けるように支援させて頂いております。</p>	

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870103664
法人名	有限会社 トータルケア果の実
事業所名	グループホーム ころ
所在地	松山市西垣生町575-6
自己評価作成日	平成25年1月7日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成 25 年 2 月 1 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご利用者様の健康管理ができ病状悪化防止ができ、安全に暮らせる様、訪問診療、訪問歯科、訪問看護等々の連携を密に取り、安定した生活ができるように支援させて頂いております。又、四季折々の情緒が味わえるようにレク係が率先して楽しんで頂けるよう支援させて頂いております。(お花見、芋煮会。etc)お一人お一人のできる事が継続できるような自立支援の介護をさせて頂き『生きている、役割を感じる』事も支援とさせて頂いております。他の楽しみも、昔を思い出して頂けるような地方祭等々に参加して頂き、回想法等々を用いて認知症の悪化予防にも取り組んだケアをさせて頂いております。お一人お一人の個別性も大切にするためにも、ご家族様のご協力を賜り笑顔で毎日を過ごせるように支援させて頂いております。日々の食事にも食材の下準備を一緒にして頂いたりと手作りにも拘りを持つ

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

平成15年に開設された事業所は、昨年から看護師資格を有する管理者へ交代し、医療的な視点を踏まえた介護ケアに取り組み始めている。そのために、業務の一環として外部研修に参加するだけでなく、事業所内での研修にも力を入れ、職員一人ひとりの質の向上に努めている。どの職員も「和み・信頼・尊厳」の理念やホーム独自の介護目標を振り返り、利用者一人ひとりを尊重したケアを行うために、日々努力し、その中で利用者はゆったりと心落ち着いた面持ちで生活している。また、利用者と家族との関係を大切に考え、利用者と家族が楽しく集える行事を企画し、絆を深めることで利用者のこのころの安定や生活の張りに繋げている。一日の楽しみである食事は、専任の調理スタッフが味や盛り付けにも工夫しながら美味しく楽しく食事できるよう工夫をしている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I. 理念に基づく運営
- II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム＝一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 グループホーム ころ

(ユニット名) かりん

記入者(管理者)
氏名 向井 真弓美

評価完了日 平成25年 1月 7日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<p>(自己評価) 毎朝、申し送り時、毎月1回のミーティング時にこのころの基本理念、介護目標を皆で唱和して確認し介護させて頂いております。</p> <p>(外部評価) 理念の「和み・信頼・尊厳」や事業所独自の介護目標を、申し送り時やミーティング等で唱和し、全職員のケアに対する意識向上を図っている。また、気づいたことを日常業務の中で職員がお互いに声をかけ合うことにより、利用者一人ひとりを尊重したケアに繋げている。</p>	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<p>(自己評価) イベント等、出来る限り参加し当ホームのイベント等々にも参加して頂けるようお知らせをさせて頂いております。(このころ祭り等々チラシでお知らせしたりしています。)松山市包括支援センターのお力もお借りし、地域で認知症の介護が地域で根付くような集まりにも参加させて頂き他の事業所様との交流もさせて頂いております。</p> <p>(外部評価) 地区の自治会に加入し、自治会の行事(清掃活動など)に参加することで、地域住民と関わりながら地域活動に取り組んでいる。また、事業所が実施している「このころ祭」などに、地域にチラシを配布し参加してもらい、地域住民と交流を持つ機会を作り、利用者が地域の一員として交流が図れるよう工夫している。</p>	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<p>(自己評価) 事業者としては地域貢献できているかどうかわかりませんが地域の清掃活動には年に2~3回参加させて頂いております。また散歩の途中、放置ゴミ等々意識して拾ったりして将来は定期的にゴミ拾いの計画を、地域の方へ防災訓練時に炊き出しをしたりする計画を立てたいと考えています。地域包括からの人探しには積極的にスタッフに送り参加させて頂いております。</p>	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<p>(自己評価) ご家族様にいかに携わって頂けるか、公私の先生にお願いをし一緒に介護を取り組めるように運営推進会議時お勉強会をさせて頂いたり会議時には実施した事の報告しご家族様のご意見等々お一人お一人にお話ができる機会を作り皆で対応させて頂いております。</p> <p>(外部評価) 運営推進会議は、自治会長や民生委員、市職員、地域包括支援センター職員などの参加を得て開催され、様々な意見交換が行われている。また、会議に行事を併せて企画することで、家族の参加も多く、家族からの要望や意見を聞く機会となり、事業所のサービス向上に繋げている。</p>	<p>運営推進会議には、多くの家族の参加は得られているものの、地域からの参加者が固定されているため、災害対策など課題によって、いろいろな立場の方に参加してもらい、多角的に意見や協力を得られるよう取組み、事業所が地域の一員として更なる発展に繋がることを期待したい。</p>
5	4	○市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	<p>(自己評価) 特に松山市地域包括支援センターとの連絡、また、GH、小規模多機能の連絡会に参加し研修をしたりコミュニケーションをとっています。時には松山市介護保険課にご相談をすることもあり、助けて頂いております。</p> <p>(外部評価) 市担当者とは、運営推進会議で意見交換するなど、日頃から質問や相談を気軽にできる関係作りができています。また、地域包括支援センターへ困難事例の相談をするなど、良好な関係が形成されている。</p>	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<p>(自己評価) 夜間時にベッドで就寝中、妄想があり異常行動が見られベッドから降りようとしたりすることもあり、お怪我の無いように対応をさせて頂いております。(低床にし、その下にマットを敷いたり、柵に布団をまいたりして転倒へのリスクを考慮した対応をしています。)</p> <p>(外部評価) 全職員が、カンファレンス等で身体拘束について考える機会を設けることで、意識の共有を図っている。外出希望のある利用者には、さり気なく声をかけ、散歩に誘うよう配慮している。利用者が安全で自由に暮らせるよう取り組んでいる。</p>	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 基本的知識の研修を内部研修として行ってみたり、スタッフ全員で周知徹底に努めています。(反対に介護拒否として噛みついたり、つねったり、たたいたりが見られることもあります。がゆっくりと優しく対応をして落ち着けるように努めております)	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 現在、成年後見制度を利用しておられる方はいらっしゃいませんが、誰もご家族様がおられない利用者様がおられますのでご本人様が自己決定できなくなられるまでには生活保護課、介護保険課、主治医の方々の連携を密に取り対応させて頂けるよう支援させて頂こうと思っております。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入所前に必ずご家族様、ご本人様が見学に来ていただき、こちらの介護理念介護目標等々当ホームの事をお話しして納得して頂いたうえで契約をさせて頂いております。変更に関しては(過去1回食費等々の変更に対しては)十分な説明を運営推進会議で行い、同意書を頂いております。(参加できなかったご家族様に関しましては文章にてお知らせういし納得したうえでの同意書を頂いております。)	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者の方の言葉、態度、表情を良く観察しくみ取るように努め、ご家族様のご意見、ご不安な事柄に対しては、出来るだけお話し合いをし、その旨スタッフにも伝達をミーティング等々でしています。外部の方へは松山市市役所、包括支援センターの方々へはその都度または運営推進会議等々で報告をさせて頂いております。 (外部評価) 運営推進会議と行事を合せて開催することで多くの家族に参加してもらい、意見や要望を反映し、利用者のサービス向上に繋げている。利用者や家族等から苦情や不満などが出た場合は、全職員で話し合い、管理者や代表者が適切に対応できる仕組みを整えている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) ミーティング、ユニット会議等々でスタッフの思い、会社の思い等々話し合いを設けています。	
			(外部評価) 管理者は、日頃から職員の表情等を読み取りながら積極的に声をかけ、何でも話しやすい関係を築いている。悩んでいる職員がいれば面接するなどして働きやすい職場作りを心がけている。研修には、業務の一環で参加でき、研修内容をケアに反映できるよう配慮され、職員の意欲へと繋げている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 管理者よりの勤務評価等にて公平な形で職員を判断して給与、賞与の支給をしている。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 内部、外部研修の参加を促し、時間外手当、勤務時間内の参加をさせる等職員の向上を図っている。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) グループホーム協会の参加を通して同業者と方々との交流を図っている。	
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 介護計画書にも反映できるようにコミュニケーションを取り、出来る限りお声掛けをして、信頼関係が築かれるように努めています。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等 が困っていること、不安なこと、要望等に 耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) ご家族様のご意見をしっかりお聞きし、当ホームで安 心して生活ができ、安心してご家族様より任せて頂け るように情報収集をさせて頂き本人、ご家族様を出来 るだけ理解できるように努めています。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と 家族等が「その時」まず必要としている支 援を見極め、他のサービス利用も含めた対 応に努めている	(自己評価) 認知等がありなかなかご本人様からのご要望はお聞き できずご家族様からの情報を大切にできる事は自立 への介護に努めさせていただいております。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場にお かず、暮らしを共にする者同士の関係を築 いている	(自己評価) 残された機能を十分に発揮できるように、出来る事に 自信が持てるように体調をうかがいながら、お声掛け をし、手伝って頂き(ともに行き) 楽しみを持って頂け るように努めています。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場にお かず、本人と家族の絆を大切にしながら、 共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族様の役割を大切にし、面会に来られた時にはご 家族様の介護ができるように支援させて頂いていま す。(出しゃばらず、ご家族様なりの介護をそっと見 守っていけるようにさせていただきます。)	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人 や場所との関係が途切れないよう、支援に 努めている	(自己評価) ご本人様のなじみの物があれば持って来て頂いたり、 (筆筒、衣服) お買い物が好きだった方には機会を作れ るようにまた、ご近所の方が訪ねてこられたときには 会話が進むような環境づくりに努めさせていただいて おります。 (外部評価) 利用者が入居前に大切にしていた場所や知人等につい て、家族の話や利用者との日常会話から把握し、ケア に反映している。利用者が、馴染みの知人の面会や手 紙・年賀状のやり取り、家族の協力を得て墓参りに外 出するなど、継続的な交流ができるよう支援してい る。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 2ユニットある中でもお話ができる方々とのコミュニケーションの機会を作ったりしてかかわって頂いております。「また、話そうや」「うん、またね」等々の会話も聞くことが出来ています。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) ホームですので退所されない限りずーと対応させて頂いておりますが、退所された後も、ご家族様より「ボランティアでいいので来させてね」とのお言葉もお聞きできていることにうれしく思っております。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 出来るだけご本人様のご意向を大切にさせて頂いておりますが、時にご家族様のご意向を優先させて頂く事も・・・ご家族様「認知症の者いうことをうのみにするのですか？」とおしかりを受ける事もありましたので、その時々での対応をさせて頂いております。 (外部評価) 職員は、利用者の日常会話やちょっとした表情の変化を通して思いや意向を把握し、ケアに繋げている。また、家族と協力し、利用者の笑顔や意向を引き出し、どのような暮らしをしていきたいかを考えながら、利用者への支援に繋げている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 過去の生活状態を日頃のコミュニケーションの中からまた、ご家族様からの情報収集させていただき、スタッフみんなで把握できるように努めております。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) その方々の能力を生活の中で生かせるように、優越感にたれるように、お願いをしたりして、「あなたがしてくれたからとても助かりました。ありがとうございました。」の気持ちを伝えるように努めさせて頂いております。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) 本人様、ご家族様のご意向をお伺いをし、問題解決に取り組んでいます。本人様の意欲の欠如からご家族様のご意向に沿って計画作成する事時にはあります。例えば) 食事をご本人様は箸を使えるのに食べ様としない時に本人様は「イラン」と言われるもお口に運ぶと食べられるとした時、ご家族様のご意向は介助してでも全量摂れるようにしてほしい」とのご意向を優先して健康管理をしていく計画を立てる。等々 (外部評価) 担当制にすることで、利用者や家族の思いや意向が介護計画に反映しやすく、利用者本位となるよう留意している。介護計画は、申し送り等でモニタリングし日々のケアに繋げ、3か月に1回全職員で話し合い計画の見直しをしている。その際には利用者や家族の意向を確認し、その人らしく暮らしていくための介護計画となるよう工夫している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 毎日の午前、午後の申し送り等を使って共有、介護計画、実施の変更等々させて頂いています。時にはミーティングの時間に設けたりして対応をさせて頂いております。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) 個々の利用者様のニーズで例えば食事にとっても執着がある方にはホームでバイキング形式の食事にしたたり、出かけていきバイキングを楽しんで頂いたりとして対応させて頂いております。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) 時には地域で花を咲かせて頂いている公園へ出かけて行き楽しんで頂いたりしてリフレッシュして頂き、他事業所のお祭りに参加させて頂いたり等々させて頂いております。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	<p>(自己評価) まず、入所されるに当たり、主治医の選択はご本人様、またはご家族様の選択を優先させて頂いております。今までには主治医付で入所された方もあり柔軟に対応させて頂いております。(当ホームに来ていただいている医師も現在4名様で対応させて頂いております)</p> <p>(外部評価) 入居前のかかりつけ医への受診は、基本的に家族が同行して行くが、状況によって看護師である管理者が同行し適切に医療が受けられるように対応している。受診内容については電話や面会等で必ず家族と共有するようにしている。主治医の受診以外に訪問看護を実施しており、利用者の健康状態を適切に管理している。</p>	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	<p>(自己評価) 管理者である私が看護師なので利用者様の件とかは密に連絡が来るようになっております。(夜間、深夜に関わらず報告が入りDrへの連絡相談は看護師である私がし、Drからの指示をスタッフに伝達したりして対応させて頂いております。)又週に1回訪問ナースが来られ、利用者様の健康管理をとものにさせて頂いております。</p>	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<p>(自己評価) ご本人様のこれからの状態を鑑みご本人様のご意向ご家族様のご意向を大切に、病院側と密に連絡を取り今後のことをご一緒に考え対応させて頂けるように医療連携室の方々また、相談員様、Drとの報告連絡、相談をさせて頂いております。</p>	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<p>(自己評価) ご本人様、ご家族様のご意向を大切に、当ホームでは医療の限界がある事等十分に説明をし、ご家族様の決定に沿って対応させて頂いております。終末期に対してはご家族様と一緒に穏やかに迎えられるように、またご家族様の不安を取り除けるようにお手伝いをさせて頂いております。</p> <p>(外部評価) 事業所で利用者の看取りの経験もあり、利用者や家族の安心と納得を得られるように主治医も含め話し合いを重ねながら、安心して最期を迎えられるよう支援している。管理者が看護師で、何かあればいつでも相談できる体制を整え、職員も安心して終末期の支援をすることができる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 管理者である私(看護師)に報告連絡相談を出来るような体制をとっております。事故時には事故報告書を作成し、対策を立て適切に継続できるようにミーティング等々で連絡会をしております。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 火災避難訓練等々を年2回実施しとっさの出来事に対応できるように訓練は継続していきます。(まずは消火が第一との消防署からのご指導を受けております。) (外部評価) 運営推進会議を利用して、昼夜を想定した防災訓練を実施し、事業所の災害対策について意見交換をする機会を設けることで防災意識を高めている。地震については利用者とともに防災頭巾を製作し、リビング等に配置し利用できるようにしている。備蓄は米・カップ麺・水など3日分を常備し緊急時に備えている。	運営推進会議や避難訓練を通して、職員の防災意識を高めているが、災害が起こった時に利用者の避難など近隣住民の協力を得られるよう、防災訓練は、近隣住民にも参加してもらおう等の取組みが望まれる。また、火災緊急時マニュアルだけでなく地震等の各災害マニュアルの整備も望まれる。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 排泄の事をお聞きする時等、お部屋でお一人の時間にお聞きしたりして配慮させて頂いております。(特に気にされておられる方は・・・) (外部評価) 利用者のプライドやプライバシーを損ねないように、十分に話を傾聴して、声かけも工夫している。また、利用者について気がついたことを申し送り等で随時共有できるようにし、職員一人ひとりがその人らしさを尊重できるよう心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 衣服の着方、四季を感じる事が出来ず、暑い夏でも2~3枚着られる方に対応するときにはお声掛けをしながら季節を感じて頂きながら適切な着方ができるように、どの洋服が着たいのかお伺いしながら介助させて頂いております。反応があまりない方に対しては勝手に決めずにお声掛けをしながら、「今日は寒いからもう一枚重ねてを着ておきましょうね」等々のお声掛けをさせて頂きながらのケアをさせて頂いております。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 入浴の際こちらが介助すれば短時間で済ませられますがご本人様の自立を重んじて時間はかなりかかりますがご本人様の思うように対応させて頂くようにさせて頂いております。(反対に依存的な方もありますが)	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) こちらの感性は押し付けず、長袖の上に半袖を着られておられてもご本人様の満足されている様子ならばあえて触れないように支援させて頂いております。面倒がってお声掛けでは何もされない方その上に着ようとされる方様々ですがその都度ご本人様の思いも大切にしながらご家族様も満足して頂けるように対応させて頂いております。「本人は面倒がって着替えなくてもヘルパーさんが手をかけて着替えさせて下さい」とのご要望もありますので・・・	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 時には里芋の皮をはいで頂いたり、豆もぎを手伝って頂いたりそれを料理に使って頂いたりしています。年末には、餅つきを手伝って頂く予定にしています。(お正月用のおもち)	
			(外部評価) 食事は栄養面に配慮しながら、季節のものを取り入れ、調理専門の職員が献立を立て調理している。事業所の畑で収穫した野菜をメニューに加えたり、芋炊きなどの行事食を取り入れたりするなど食を楽しめる工夫をしている。また、職員と利用者が準備や片づけを共に行い、利用者の自信や意欲に繋げている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事摂取量、水分摂取量等々健康管理を含めて計測させて頂いております。(毎食時事、10:00, 15:00、深夜はポット、ペットボトル等々で管理)。発熱時等々もDrに報告しながら対応させて頂いております。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後の歯磨き、口腔ケアは入れ歯洗浄等々個々に対応させて頂いております。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 特に失便等々でプライドを傷つけないような配慮をし、介助させて頂いております。(下剤等を服薬していた時等)失禁されてもできるだけ布パンツで対応させて頂いております。(徐々にリハパンツが増えてきています)	
			(外部評価) 利用者一人ひとりの排泄パターンを日誌や介護記録で管理・把握し、利用者にあつた排泄リズムでのトイレ誘導等を行っている。オムツの使用方法やトイレ誘導について、利用者や家族の意向があれば、カンファレンス等で話し合い、排泄の自立支援に取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 便秘解消のリハビリ体操を個々に対応させて頂き、散歩等々屋外活動への支援、水分摂取、腸の蠕動運動、繊維食物の摂取ができるようにスタッフ全員で対応させて頂いております。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 利用者様の入浴拒否もあり、あまり入りたがらない方もいらっしゃいますので入浴の効果等々を説明したり、時には「入浴してくれんと社長に怒られるからお願いします。」等々いろいろな手法で清潔管理をさせて頂いております。ご本人様からは「きれいにしてちょうだい、お風呂にはいりたい。」等々のご要望も少なくご家族様のご意向で清潔介助をさせて頂くことも多くあります。「週に2~3回は入れてやってほしい」等々	
			(外部評価) 浴室には、シャワーチェア等の福祉用具や介助用リフトが設置され、重度化した利用者でも湯船に入れるよう設備を整え、安全・安楽に入浴できるようにしている。入浴の苦手な利用者については、無理強いしないよう、声かけの工夫や希望を聞くなど配慮している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 昼夜逆転の方に対して日中起きて活動して頂けるように「動いて疲れたからぐっすり寝れた」と外出するといわれる方々にはお庭に出て草花を観て頂いたり、お買い物に出て頂いたり夜間ぐっすり眠れるように支援させて頂いております。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬拒否が見られる方もおられますが調子、ご機嫌等々を見ながら時間が少し遅れても服薬できるようにお声掛けをいろいろな形でさせて頂いております。お薬を吐き出す方については散剤にして対応したり、時間をずらしたり等々対応させて頂いております。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 手先が器用で縫い物が得意な方にはゴムが緩んだ時、他の利用者の方のスボンのすそがほつれた時等々「とても助かります。お願いします」「ありがとうございました」とお礼を言いととても助かっていることもお伝えして人に喜んで頂けることを共有させて頂いております。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 外出拒否の方に対してはご家族様のご協力を得て、出かける事が出来ています。(何度も拒否されるのでご相談をしましたら快くご家族様のご協力をして下さいました。なぜか? 「出かけるとトイレが面倒だし、失敗したら…と思う」とのことでしたが出かけると何ともないのですが…不安なのでしょう。その都度お声掛けをしています。	
			(外部評価) レクリエーション係の職員が利用者の外出希望を聞き、季節に合った外出を企画し、外出支援に取り組んでいる。外出は、ボランティアや家族の協力を得ながら実施している。外部との交流や日常の変化により、利用者の気分転換やストレス発散などに繋げている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 取られ妄想の利用者の方々がおられる為また、金銭感覚の理解ができにくい方々もおられる為、外出時利用者様各々適宜スタッフが対応させて頂いており、利用者様ご本人がレジで支払いをされる事はしていませんが、買い物時の選択は高額でなければご自由にさせて頂いております。事前にご家族様に連絡はしています。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 特に問題がなければ「電話をかけたいのよ」との事にてご本人様自らがかけられず外野るはこちらのスタッフがかけるような時が多いようです。少しご家族様が来られずストレスを感じられておられる様子があればこちらからお願いをすることもあります。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価) 季節ごとに情緒を感じられるような廊下、壁等々に飾りつけを利用者様が作られたものを飾り、雰囲気作りに努めさせていただいております。失禁がありトイレの臭いに配慮させて頂いております。（消臭剤により不快感を取り除いています。）</p> <p>(外部評価) 共用空間は、リビング兼食堂となっており、テーブルやソファなど置いている。日中はそこでくつろぐ利用者もあり、ゆっくりとした時間が流れている。オープンキッチンからリビングを見渡せるため安心にも繋がっている。各階にウッドデッキがあり、そこから春には桜を眺めたり、天気の良い日にはお茶をしたり気分転換の場となっている。</p>	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価) リビングの畳部分でくつろげたり、ソファでほかの方と一緒にTVを見たり、時にはひとりで脳トレをしたり共用の場所であっても皆での行動、一人で没頭できるスペースができるような環境作りに努めております。お天気が良い日にはウッドデッキに出て日向ぼっこをして癒させて頂いております。</p>	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価) 以前に使われていた家具等々で昔懐かしいお部屋作りに配慮させて頂きご家族様にご協力を得て心地良いお部屋作り、環境整備をさせて頂いております。ご自分で整理ができると思っておられる方に対しては何か訴えがない限りは見守っていき、出来ない方についてはこちらで適宜環境整備、衣類の整理をご家族様と一緒にさせて頂いております。</p> <p>(外部評価) 居室は、殺風景にならないよう家族に働きかけ、使い慣れた馴染みものを持ち込んだり、家族の写真や手作り作品等を飾ったりしている。滑り止めマットなど安全面に配慮した居室づくりをし、自分の居場所としていつでも心地よく過ごせるよう支援している。</p>	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価) 手先の器用な方には新聞を一枚ずつ折って頂いたり、お芋の皮を取って頂いたりして「助かります」の感謝の気持ちを表現して私にも「できる」を感じて頂けるように支援させて頂いております。</p>	